

教育旅行向けほんまもん体験事業者等支援

現状・課題

- 和歌山県の自然、歴史、文化などありのままに触れて学習する体験型観光「ほんまもん体験」を広く周知し、県内外からの教育旅行誘致活動を行っている
- 新型コロナウイルス感染症の影響で教育旅行が遠方から近場へ向く動きがあり和歌山への入り込みは増加したが、コロナ禍前の行き先に戻りつつある
(R3県内校319・県外校256 R4県内校128・県外校222)
- 子供達が「ほんまもん体験」を安心・安全に学習できる受入環境を整備し、これまで学習したことがない子供達にも知ってもらい和歌山県での教育旅行の充実を図る

取組

- 体験型観光事業者向けのセミナーを開催し受入体制の強化を図る
- 安全施策や感染症対策に資する設備・備品を設置する
- ポストコロナに向けた県外学校等に対する誘客促進、持続的な受入環境整備を促進する。

受入体制強化

- セミナー等の開催
 - ・SDGsに繋がるテーマ型学習プログラム構成等に向けた体験型観光事業者向けセミナーの実施
- 安全施策・感染症対策の実施
 - ・参加者の安全を確保するための備品設置や感染症対策にかかる受入定数増に繋げる設備等の導入

情報発信

各種情報媒体を活用し、持続可能なプログラムや安心・安全な体験観光を広くPR

県外学校等への誘客促進

- スクールキャラバンの展開
 - ・戦略的に誘致活動を実施すべき地域を選択し、学校訪問のうえ誘客を図る
- 旅行会社へのPR
 - ・修学旅行等の手配を行う旅行会社にセールス活動を展開



子供達の笑顔に繋げる

寄附金の使途

- 受入体制強化費用
(セミナー等開催費、体験型商品造成費、受入定数増加に係る設備導入費・備品購入費等)
- 誘客促進・情報発信費用
(誘客活動費、記事掲載費等)